

いじめ防止基本方針

近畿大学附属小学校



人に

愛される人

信頼される人

尊敬される人

になろう

はじめに

いじめは、その子どもの将来にわたって内面を深く傷つけるものであり、子どもの健全な成長に影響を及ぼす、まさに人権に関わる重大な問題である。全教職員が、いじめはもちろん、いじめをはやし立てたり、傍観したりすることは絶対に許されないという姿勢で、どんな些細なことでも必ず親身になって相談に応じることが大切である。そのことが、いじめの発生・深刻化を防ぎ、いじめを許さない児童の意識を育成することになる。

そのためには、学校として教育活動の全てにおいて生命や人権を大切にする精神を貫くことや、教職員自身が、児童を一人ひとり多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、児童の人格のすこやかな発達を支援するという児童観、教育観に立って指導を徹底することが重要となる。

本校では、学園の校訓である「人に 愛される人 信頼される人 尊敬される人 になろう」に基づき、日々道徳教育に全力を注いでいる。いじめは、この校訓に反するものであり、重大な人権侵害事象であるという認識のもとに、ここに本校のいじめ防止基本方針を定める。

1 いじめの定義

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

— 「いじめ防止対策推進法 第2条」

2 いじめに関する基本的な認識

上記の「いじめの定義」をもとに、本校の「いじめに対する基本的な認識」を示す。それにより、本校教職員のいじめに対する理解を深め、いじめ問題への感性を高める。また、そのような感性こそ、いじめの未然予防・早期発見につながるものであり、いじめの被害児童の気持ちを重視できる感性であると考えます。

- いじめは、どの子どもにも、どの学校でも、どの学級でも起こり得るものである。
- どんな子どもでも、いじめの被害者にも加害者にも、なり得る。
- いじめは、人権侵害であり、人として決して許される行為ではない。
- いじめは、いじめられる側にも問題があるという考え方は誤りであり、いじめ加害者がいなくなれば、いじめはなくなる。
- いじめは、その行為の様態により暴行・恐喝・強要などの刑罰法規に抵触する重大なものである。
- いじめは、①被害者 ②加害者 ③観衆 ④傍観者 の4層構造になっており、この「観衆」や「傍観者」に対しても、「いじめを許さない」という意識を持たせる必要がある。
- いじめは、当該児童生徒の置かれている状況に大きく影響され、特に家庭教育の在り方に大きく関わる。
- いじめは、学校、家庭、保教会、地域社会などが、それぞれの役目を果たし、一体となって取り組むべき問題である。
- いじめ問題は、学級担任が一人で抱えこまず、学年・学校全体で対応するものである。

3 未然防止と早期発見

いじめの課題に取り組むに当たっては、「いじめが起こらない学級・学校づくり」などの、未然防止、予防に取り組むことが最も重要である。そのために、「いじめを生まない風土づくり」や「児童の様子把握」などに取り組む必要がある。

(1) いじめを生まない風土づくり

① 「いじめを しない されない ゆるさない」の三原則の遵守

- ・「いじめをしない」 …いじめをする人がいなくなれば、いじめは起きない
- ・「いじめをされない」 …友達や仲良しグループであっても、いやなことはいやと言う、また、それ言われた側も素直に受け入れる受容的な人間関係を構築する
- ・「いじめをゆるさない」 …学級（学校）の仲間は、いじめの「観衆」「傍観者」にならない。それらもいじめと同じであることを自覚し、いじめを止める、防止する、友達を守るという強く気持ちをもつ

この三原則を、学級・学年・学校全体で共有し、全員で日々心掛け、実践するものとする。

② 言語環境を整える

- ・「ぐさり言葉」（チクチク言葉）、「ふわり言葉」（フワフワ言葉）の指導を徹底する（資料1）
（ぐさり言葉 … 言われると傷つく言葉 ふわり言葉 … 言われるとうれしい言葉）
- ・丁寧で、礼儀正しい言葉遣いを心掛け、友達には「くん」「さん」を必ずつけて呼ぶ
- ・友達同士であっても文末は「～です。～ます。」と言い、友達のお話は最後まで聞く。

③ 受容的で肯定的な学級（学校）の風土を育てる

- ・「友達のいいところ探し」をして、一人一人の個性を認め、ほめ合う。
- ・友達を注意する時は、「相手のために思って」心から思いやりをもって、応援する気持ちで声かけする。

④ 学級（学校）の中のでくない風土を、みんなで力を合わせてなくしていく

(学級の中のでくない雰囲気)

「一生懸命」は、かっこわるくて、はずかしいことだという雰囲気。

「真面目」は、損をして、ばかばかしいことだという雰囲気。

「正しい」ことに従わずに、「楽しい」ことを優先させる雰囲気。

友達の失敗を笑ったり、ばかにしたりする雰囲気

友達を応援せずに、足をひっぱろうとする雰囲気

友達の得意なことをねたみ、友達の苦手なことをばかにする雰囲気

友達同士のこそこそ話や目配せが多い雰囲気

(2) 児童、学級、学校の様子 of 把握

○教職員による「気づき」

「学級経営チェック」(資料2)などを活用して、学級担任や教職員が、毎日きめの細かい「目くばり」「気づき」「心くばり」を行う。「日常的なささいな事柄の中にも『いじめの芽』が含まれていることが多い」という認識をもって、毎日の学校生活で予防的な指導を徹底し、「いじめの予防」に努める。

○「学校生活アセスメント」(「hyper Q-U」の活用と「教研式 HUMANⅢ」との連携)の実施

年間を通し、計画的なアンケート調査を実施し、児童、学級、学校の実態を把握するよう努める。その実施に当たっては、「いじめに対する取り組みは、児童・学校・家庭が一体となって行うことが重要である」との観点から、アンケートは「児童向け」として「hyper Q-U」を年2回、「保護者向け」として「学校アンケート」を定期的に行い、学校と家庭の連携に努める。また、個人懇談など個別で話し合う機会を活用するとともに、2年に1度、「教研式 HUMANⅢ」を実施する。これにより児童の道徳性の発達を把握するとともに、結果を活用して、いじめ防止や早期発見に努める。

○「やりきり表」『日進月歩』『洗心』の活用

毎日の生活指導で取り組んでいる「やりきり表」(低学年)・『日進月歩』(高学年)・『洗心』(道徳の授業等で使用する本校独自の心のノート)を活用し、日頃から児童の実態把握に努める。

児童

「hyper Q-U」…年2回実施(6月頃、10月頃)
「教研式 HUMANⅢ」…2年、4年、6年の学年で実施(11月頃)
「やりきり表」『日進月歩』『洗心』による日々のふりかえり

家庭

「学校アンケート」…学年末に実施(3月) 個人懇談…1、2学期末(7月、12月)

学校

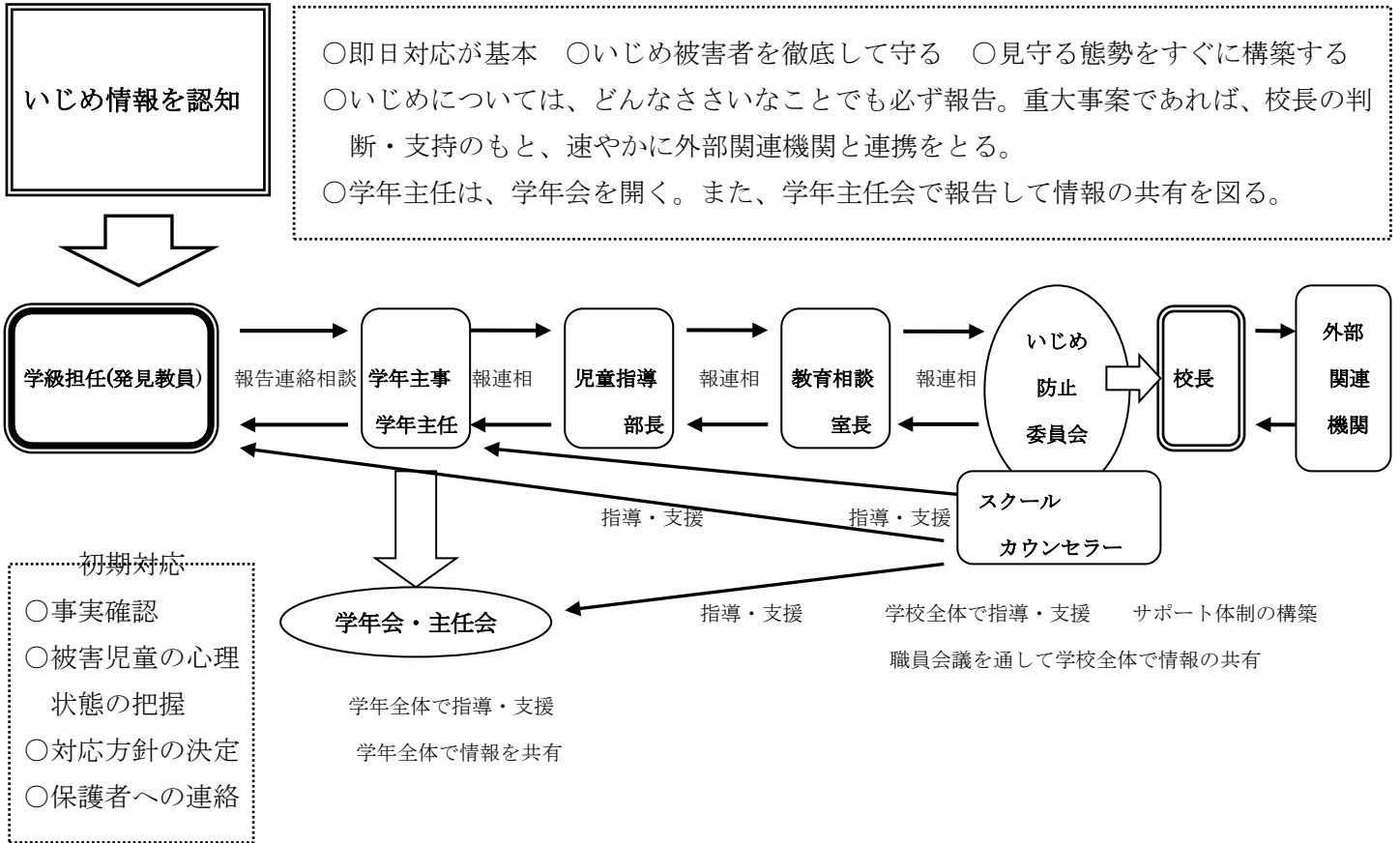
毎月の学年主任会・職員会議でいじめ防止会議を実施
「教職員へのアンケート」…毎学期末に「学年総括」にいじめについて記載する
「児童カルテ」…年度末に児童カルテにいじめについて記載する

○年間指導計画(資料3)

4 学校体制と取り組みの把握と検証

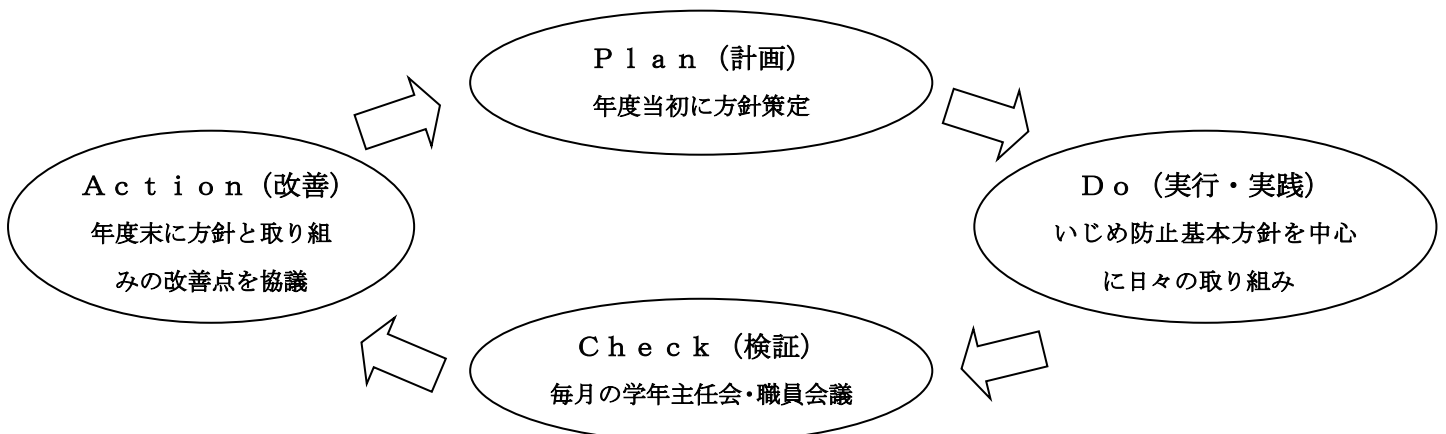
いじめを認知した場合、その教職員が一人で抱えこまずに、学年・学校全体で取り組むことが重要である。このため、組織的な対応を行うための本校の「学校体制」と「取り組みの把握と検証」をまとめる。

学校体制



- 「いじめ防止委員会」 … 校長 教頭 教育相談室長 児童指導部長 学年主事 学年主任
 養護教諭 保健主事 専科主任 スクールカウンセラー フロア担当教諭
- 「外部関連機関」 … 大学総務部 県庁 家庭児童相談所 人権教育相談

取り組みの把握と検証 (PDCAサイクルによる)



5 ネット上のいじめへの対応

発見がしにくく、短時間でエスカレートするのが「ネットいじめ」の特徴である。匿名性が高く、安易な動機で深刻な事態になったり、加害者にも被害者にもなり得たりするため、日頃から十分注意することが大切である。

○「ネットいじめ」の具体例

- ・パソコンや携帯端末から、ネット上に子どもの誹謗中傷を書き込む。
- ・パソコンや携帯端末から、ネット上に子どもの個人情報に掲載する。
- ・子どもの誹謗中傷を、不特定多数の携帯端末にメールで送信する。(チェーンメール)
- ・別の子どもになりすまして、ネット上でその子どもが社会的信用を落とすような行為をする。(なりすまし)

○情報モラル教育の推進

道徳や総合的な学習の「情報」の学習において、「情報の受け手」として必要な基本的な技能の学習や「情報の発信者」として必要な知識・能力を学習する機会を設ける。

6 関連資料

(資料1)「ふわふわことば ポスター」

(資料2)「学級経営チェック」

(資料3)「年間指導計画」

近	小	を		
	ふ	わ	ふ	わ
こ	と	ば	で	
い	っ	ぱ	い	に

ありがとう！ すごいね！ おめでとう！
 がんばったね！ りっぱだね！ だいじょうぶ！
 大好きだよ！ 上手だね！ 分かっているよ！
 すばらしい！ やさしいね！ 思いやりがあるね！



- お友だちをよぶ時は、「くん」・「さん」をつけましょう！
- お話のおわりには、「～です。」「～ます。」と言いましょう！
- 思いやりのこもった、ていねいなことばづかいをしましょう！



学級経営チェック

近畿大学附属小学校 いじめ防止委員会

児童の様子と気持ち

- 1 毎朝、気持ちよく起きることができているか
- 2 毎朝、学校に楽しく来ることができているか
- 3 近頃、忘れ物が多くなっていないか
- 4 近頃、学校で自分の物がなくなっていないか（何度も）
- 5 休み時間、友達と楽しく遊べているか
- 6 学校で、よく頭が痛くなったり、お腹が痛くなることはないか
- 7 学校で、悪口やあだ名で、よくからかわれることはないか
- 8 何もしてないのに、たたかれたりけられたりしていないか
- 9 学校で、よく教科書やノートに落書きをされていないか
- 10 学校で、よく自分のものに不自然な傷が付いていないか
- 11 近頃、学校であったことを、家で話しているか
- 12 最近、学校で楽しいことがあったか
- 13 学校で、いつもいやだなあと思うことはないか
- 14 毎晩、気持ちよく寝ることができているか
- 15 学校で、よく友達と話したりしているか
- 16 先生のいないところで、いやなことをされていないか
- 17 そうじなど、学校の仕事でおしつけはないか
- 18 学校で、友達に仲間はずれにされていないか

担任の目から

- 1 休み時間、ひとりで遊んでいる（読書以外で）
- 2 欠席・遅刻が多い
- 3 保健室によくいく
- 4 朝から表情が暗い（挨拶・返事が無い）
- 5 休み時間、担任のそばばかりにいる
- 6 名前を必ず呼び捨てにされる
- 7 後片付けなどの仕事を、いつもさせられている
- 8 何か失敗をしたら、おおげさにひやかされる（みんなが喜ぶ）
- 9 周りの子から注意を受けるとき、特にきつい口調で大勢から受ける
- 10 班や係決めるとき、ひとりになってしまう（黙って端にいる）
- 11 物が無くなっていないか（何度も）

1月	談② 音楽会 新年の目標作り	談② 音楽会 新年の目標作り	談② 音楽会 新年の目標作り	談② 音楽会 新年の目標作り	談② 音楽会 新年の目標作り	談② 音楽会 新年の目標作り	
2月	耐寒生駒登山 近小フェスティバル	耐寒生駒登山 近小フェスティバル	耐寒生駒登山 近小フェスティバル	耐寒生駒登山 近小フェスティバル	耐寒生駒登山 近小フェスティバル	耐寒生駒登山 近小フェスティバル	
3月	6年生をおくる会 保護者「学校アンケート」	6年生をおくる会 保護者「学校アンケート」	6年生をおくる会 保護者「学校アンケート」	6年生をおくる会 保護者「学校アンケート」	6年生をおくる会 保護者「学校アンケート」	6年生をおくる会 保護者「学校アンケート」	3学期総括 「学校アンケート」報告会
日々の取り組み	「校訓」と「誓願」の唱和 やりきり表 『洗心』	「校訓」と「誓願」の唱和 やりきり表 『洗心』	「校訓」と「誓願」の唱和 やりきり表 『洗心』	「校訓」と「誓願」の唱和 『日進月歩』 『洗心』	「校訓」と「誓願」の唱和 『日進月歩』 『洗心』	「校訓」と「誓願」の唱和 『日進月歩』 『洗心』	毎月の学年主任会と職員会議後に協議会

*取り組みの把握と検証（P D C A）を通年で行い、必要に応じて方針や計画を見直していくこととする。